

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 一期 崎 直 美	職名 講 師	学位 修士 (教育学) (熊本大学 2010 年)
-------------	--------	---------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
養護教育	養護教諭、専門職、ケア

研 究 課 題
専門職としての養護教諭の仕事について研究を行っている。現在、養護教諭の仕事に関する教育学及び社会学の基礎的研究を踏まえ、養護教諭を対象とした社会調査について分析している。

担 当 授 業 科 目		
対象別公衆衛生看護活動論 I	(前期)	看護学科
学校保健	(後期)	看護学科
養護概説	(後期)	看護学科
健康相談	(前期)	看護学科
学校保健教育法	(前期)	看護学科
養護実習事前事後指導 (4年生対象)	(3年後期から4年後期)	看護学科
教育実習事前事後指導 (4年生対象)	(3年後期から4年後期)	看護学科
養護実習事前事後指導 (3年生対象)	(3年後期から4年後期)	看護学科
養護実習	(通年)	看護学科
教育実習 I	(通年)	看護学科
教職実践演習 (養護教諭)	(後期)	看護学科
教職実践演習 (中・高等学校)	(後期)	看護学科
看護総合演習	(通年)	看護学科
看護総合実習	(通年)	看護学科

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【対象別公衆衛生看護活動論 I】</p> <p>① この科目は、看護学科公衆衛生看護関係科目の選択科目である。1年次の「公衆衛生看護学概論」後の受講となる。学生は、公衆衛生看護活動の場としての「学校保健」「産業保健」の概要について学ぶ。担当の「学校保健」は、これまで学生が経験した学校生活で理解できる点もあるため、経験と結び付けよう解説した。</p> <p>② 講義内容について知識や理解を深めるように、事前学習に選択式問題の課題に取り組みさせた。</p> <p>③ 特別支援教育の児童生徒の理解を深めるために、発達障害の事例を用いた演習を取り入れた。</p>
<p>授業科目名【学校保健】</p> <p>① 学校保健は、養護教諭一種免許状取得においては必修科目で、講義内容の理解を深めるために、発表したり議論したりする機会を設けている。</p> <p>② 学校保健で利用頻度の高いホームページや電子書籍サイトなどを利用する機会として、学生の発表に使用する資料として提示した。</p> <p>③ 現在の児童生徒の健康課題を理解するために、図書館の雑誌を用いて学生が発表に使用するよう提示した。</p> <p>④ 学生の主体的な学習を促すために、授業後に作成するポートフォリオを定期試験に活用できるようにし</p>

た。

- ⑤ 学校保健で重視される食育に関する給食管理や食育における教育の実際について、学校現場を知る講師を招いた。

#### 授業科目名【養護概説】

- ① 養護概説は、養護教諭一種免許状取得においては必修科目である。学校保健活動を養護教諭として実践していくために必要な基本的な知識・技術を学ぶ。そのため学校保健の講義終了後の履修になるよう計画した。
- ② 養護教諭の具体的な活動については、実務経験を含め解説し、演習を取り入れた。
- ③ ロールプレイや模擬授業など、学生が養護教諭と児童生徒役を経験できるように講義を設定した。また、学生の振り返りには、学生の他者評価も踏まえるように授業を設計した。
- ④ 学生の主体的な学習を促すために、授業後に作成するポートフォリオを定期試験に活用できるようにした。
- ⑤ 現在の児童の実態を理解し、現場の養護教諭の仕事を理解するために小学校に訪問する機会を設けた。

#### 授業科目名【健康相談】

- ① この科目は、養護教諭一種免許状取得においては必修科目である。講義「学校保健」「養護概説」終了後に履修する。
- ② 学生が児童生徒に健康相談が実施できるような力が身につくよう、支援の基礎となる知識についてはワークを実施し、技術についてはロールプレイを中心に実施した。
- ③ 学校における課題を抱える子ども（虐待、不登校、自殺など）について、学生は調べ学習を発表する。その知識を基に、そのような子どもたちへの対応について、学生同士で討論させた。
- ④ 学校と専門機関との連携を学ぶために、スクールソーシャルワーカーの仕事を知る講師を招いた。

#### 授業科目名【学校保健教育法】

- ① 学校保健教育法は、教職課程における養護教諭一種免許状取得希望学生を対象とした科目である。養護教諭は兼職発令で教科の保健教育を担うことができるため、その点を含め講義内容を構成した。
- ② 教職課程での既習事項を確認しながら、保健教育（教科保健・特別活動）の授業づくりができるように進めた。
- ③ 養護教諭が主に担う保健教育（歯の健康づくり、性に関する教育、喫煙・飲酒・薬物乱用防止など）については、学生が事前学習し、その知識を用いて模擬授業が展開できるよう授業を構成した。
- ④ 学生の模擬授業後に、授業の展開方法について討論の機会を設けた。
- ⑤ 学校保健教育の教材研究に役立つホームページなどを学生に紹介し、活用を促した。
- ⑥ 学習指導案や教材の作成などについて、授業時間外を含め学生への個別支援を行った。

#### 授業科目名【養護実習事前事後指導】4年生対象

- ① 教職課程の実習に関わる事前指導および事後指導を行う科目である。教職課程での実習は、はじめての経験になる。そのため、事前指導を充実させるよう構成した。
- ② 主体的に実習となるよう、実習期間中に経験できる授業や行事について学生自身に学校から情報を収集し、その情報を模擬授業等に活かすように指導した。
- ③ 学生の指導計画作成や教材づくりは、授業時間外でも個別支援した。
- ④ 学生が行う模擬授業の評価は、学生からの他者評価や授業のビデオを視聴し、客観的な自己評価につながるよう指導した。
- ⑤ 実習後は、学生が実習校での学びを共有できるよう、実習発表会を実施している。学生主体の実習発表会になるよう、会の進行などについても学生が担うよう指導している。
- ⑥ 4年生と3年生が発表会で交流できるよう時間を設定した。

#### 授業科目名【教育実習事前事後指導】4年生対象

- ① 教職課程の実習に関わる事前指導および事後指導を行う科目である。教職課程での実習は、はじめての経験になる。そのため、事前指導を充実させるよう構成した。
- ② 主体的に実習となるよう、実習期間中に経験できる授業や行事について学生自身に学校から情報を収集し、その情報を模擬授業等に活かすように指導した。
- ③ 学生の指導計画作成や教材づくりは、授業時間外でも個別支援した。
- ④ 学生が行う模擬授業の評価は、学生からの他者評価や授業のビデオを視聴し、客観的な自己評価につな

がるよう指導した。

- ⑤ 実習後は、学生が実習校での学びを共有できるよう、実習発表会を実施している。学生主体の実習発表会になるよう、会の進行などについても学生が担うよう指導している。

授業科目名【養護実習事前事後指導】3年生

- ① 教職課程の実習に関わる事前指導および事後指導を行う科目である。教職課程での実習は、はじめての経験になる。そのため、事前指導を充実させるよう構成した。
- ② 学生の実習時期は、実習に行く学生でそれぞれ異なる。実習時期を考慮しながら、授業を構成した。
- ③ 実習を充実させたり、不安の軽減するために、現職の養護教諭に講師を依頼した。
- ④ 目指す養護教諭像と現在の課題について記入後、その内容を踏まえ、実習に向けて、個別面談を実施した。

授業科目名【養護実習】

- ① 養護実習は、養護教諭一種免許状取得のためには必修科目である。学校で養護教諭としての仕事を体験する3週間の実習である。学生はこれまでグループで実施する実習形態で、単独での実習経験がない。そのため、個別面談の機会を設け学習の準備状況を確認した。
- ② 学生自身が、将来、養護教諭として働くことを目指し積極的に実習するよう支援した。
- ③ 各自の目標が達成できるよう、主体的に実習校と連絡をとり準備をすすめるよう支援した。
- ④ 学生の実習状況を把握し実習の事後指導に役立てるよう、実習校訪問は学生の査定授業の日に可能な限り計画し訪問するようにした。

授業科目名【教育実習Ⅰ】

- ① 教育実習は、高等学校教諭一種免許状（看護）の取得のために行う。高等学校における看護教員としての仕事を体験する2週間の実習である。学校で実際に生徒に関り、現職の看護教員の授業を参観したりや担任の役割についても学ぶ。学生はこれまでグループで実施する実習形態で、単独での実習経験がない。そのため、個別面談の機会を設け学習の準備状況を支援した。
- ② 看護教員になるためには、看護師としてのキャリアが一般的には必要になる。学生が自身のキャリアを考え実習に臨むよう事前に面談した。
- ③ 学生の実習先は、出身校ではない。主体的に実習校と連絡をとって準備をすすめるよう支援した。
- ④ 学生の実習状況を把握し実習の事後指導に役立てるよう、実習校訪問は学生の査定授業の日に設定し訪問した。

授業科目名【教職実践演習】（養護教諭）

- ① 教職課程における学びや実習を振り返り、教員になるための課題を考え、解決へと結びつけていくための講義である。外部講師（特別支援教育・地域家庭との連携・性に関する教育）を招き、学生の学びを深化させるよう授業を構成した。
- ② 教職課程担当者全員で指導を行う授業には参加し、学生の学習状況を把握した。
- ③ 多職種連携として、栄養学科の栄養教諭志望学生および高等学校看護教諭志望学生と相互の職務について発表および討論する授業を企画した。
- ④ 学生は特別支援学校の実習経験がないため、特別支援学校の養護教諭の職務や子どもたちの実態を学ぶ機会として特別支援学校に訪問した。
- ⑤ 養護教諭の研修の場を学ぶために、遠隔で受講できる研修を事前に視聴させた後、授業で討論した。

授業科目名【教職実践演習】（中・高等学校教諭）

- ① 教職課程における学び及び実習を振り返らせ、教員になるための課題を考え解決へと結びつけていくための講義である。外部講師（特別支援教育・地域家庭との連携）を招き、学生の学びを深化させるよう授業を構成した。
- ② 教職課程担当者全員で指導を行う授業に参加し、学生の学習状況を把握した。
- ③ 多職種連携として、栄養学科の栄養教諭志望学生と養護教諭志望学生と相互の職務について発表および討論する講義を企画した。
- ④ 英語教諭志望学生と合同での模擬授業に参加し、高等学校での看護の授業が展開できるよう事前に指導計画について個別指導を実施した。
- ⑤ 看護教員の研究を学ぶために、遠隔で受講できる研修を視聴し研究のあり方について討論した。

授業科目名【看護総合演習】

- ① 看護総合演習は、看護学科専門の必修科目である。各自が研究の問いをたてレポートを作成する。全体の進行と個別指導について、学生と調整しながら日程を計画した。
- ② 学生の進捗状況に応じて、レポートへの個別支援を行った。
- ③ 中間発表を設定し、学生の進捗状況を把握した。最終レポート発表会へとつながるよう個別支援を実施した。

授業科目名【看護総合実習】

- ① 看護総合実習は、看護実習の集大成と位置づけられ、課題から主体的に実習を計画し展開していく。学生が主体的に実習指導者と連絡を取り、実習を進められるよう、指導者と連絡をとりながら学生を支援した。
- ② 看護課程の学びをいかし、養護教諭としての課題を解決できるような計画が立案できるよう、実習計画について個別支援した。
- ③ 学校における保健教育を実施するためには、指導計画の作成や児童の実態を把握することや学級担任との連携が重要になる。学生に進行状況を確認し個別支援した。
- ④ 学生が学級で保健教育（授業）を実施するときに参観し、授業内容の改善を図るよう支援した。
- ⑤ 自己評価で終わらないよう個別面談を実施し、実習で課題が解決できたかどうか確認した。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本学校保健学会		2008年～現在に至る
日本養護教諭教育学会		2008年～現在に至る
日本健康相談活動学会		2008年～現在に至る
日本教育保健学会		2013年～現在に至る
日本看護協会		2015年～現在に至る
日本看護学教育学会		2016年～現在に至る
日本養護実践学会		2020年～現在に至る

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				
(その他)				
				教育研究業績 総数 (2023.3.31現在) 著 書 (内訳 単 0, 共 1) 学術論文 (内訳 単 2, 共 4) 翻 訳 (内訳 単 0, 共 0) 学会発表 (内訳 単 3, 共 5)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
福岡県若年教員研修（養護教諭）実施協議会	委員	1年

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

教職課程委員会（全体・学科）	2022年4月1日～2023年3月31日
FD委員会委員（全体・学科）	2022年4月1日～2023年3月31日
看護学科 2年生4年生アドバイザー	2022年4月1日～2023年3月31日
看護学科 プロジェクト	2022年4月1日～2023年3月31日